



UCS Server Configuration Utility の起動

- はじめに (1 ページ)
- cisco.com から ISO イメージを取得する (1 ページ)
- UCS-SCU のブート (2 ページ)
- UCS-SCU の終了 (10 ページ)

はじめに

UCS Server Configuration Utility (SCU) は 64 ビット Linux カーネルに基づくブート可能イメージです。シスコのラック サーバーで RAID 論理ボリュームの構成、オペレーティング システムのインストール、診断などの操作を実行できます。これは、一度に1つのサーバーで実行されるように設計されています。

cisco.com から ISO イメージを取得する

サーバの ISO ファイルを検索するには、次の手順を実行します。

始める前に

この手順を実行するには、有効なシスコのログイン情報が必要です。

ステップ 1 [ソフトウェア ダウンロード (Software Download)] に移動します。

(注) シスコのログイン情報を使用してログインします。

ステップ 2 [製品の選択 (Select a Product)] > [すべて参照 (Browse All)] をクリックします。

ステップ 3 最初の列で [サーバ/ユニファイドコンピューティング (Servers - Unified Computing)] をクリックします。

ステップ 4 中央の列で [UCS C シリーズラック搭載スタンドアロンサーバー ソフトウェア (UCS C-Series Rack-Mount Standalone Server Software)] をクリックします。

ステップ 5 最後のカラムのサーバー モデルの名前をクリックします。

使用可能なソフトウェアのリストを含む新しいページが表示されます。

ステップ6 [ソフトウェア タイプの選択 (Select a Software Type)] リストで、[Unified Computing System (UCS) サーバー構成ユーティリティ (Unified Computing System (UCS) Server Configuration Utility)] を選択します。

[Download Software] ページが表示され、リリース バージョンおよび UCS-SCU イメージが示されます。

ステップ7 左側のペインから該当するリリースを選択します。

ステップ8 右側のペインにある [ダウンロード (Download)] アイコンをクリックします。

ステップ9 次の画面に進んでライセンス契約に同意し、ISO ファイルを保存する場所を参照します。

UCS-SCU のブート

次のいずれかのオプションを使用して、UCS-SCU アプリケーションを起動できます。

- [vKVM マップ済みの vDVD の使用 \(2 ページ\)](#)
- [Cisco FlexMMC vDVD の使用 \(3 ページ\)](#)
- [CIMC マップ済みの vDVD の使用 \(8 ページ\)](#)
- [物理メディアの使用 \(10 ページ\)](#)

vKVM マップ済みの vDVD の使用

始める前に

cisco.com から UCS-SCU ISO イメージファイルをダウンロードします。イメージをダウンロードする方法については、[cisco.com](#) から [ISO イメージを取得する \(1 ページ\)](#) を参照してください。

ステップ1 Cisco IMC にログインします。

ステップ2 右上のメニューから [KVM の起動 (Launch KVM)] をクリックします。

(注) ブラウザの設定によっては、**KVM サーバ証明書**を受け入れ、KVM ビューアをクリックする必要があります。

仮想 KVM コンソールにサーバー コンソールが表示されます。

ステップ3 [仮想メディア (Virtual Media)] > [vKVM-Mapped vDVD] を選択します。

[仮想メディアのマップ - CD/DVD] ウィンドウが表示されます。

ステップ4 ISO ファイルを参照して選択し、[Open] をクリックしてイメージをマウントします。

ステップ5 [仮想メディアのマップ-CD / DVD] ウィンドウから [マップ ドライブ (Map Drive)] を選択します。

仮想 KVM コンソールに次のメッセージが表示されます。

デバイス「vKVM-Mapped vDVD」にメディアが正常に挿入されました。

ステップ 6 [電源 (Power)] > [システムの電源の投入 (Power Cycle System)] を選択します。

ステップ 7 サーバーが起動したら、**F6** キーを押してブート デバイスを選択します。

ブート選択メニューが表示されます。

ステップ 8 矢印キーを使用して、**vKVM-Mapped DVD** を選択し、**Enter** キーを押します。

サーバーは UCS-SCU イメージを使用して起動し、[KVM] タブでアプリケーションを起動します。

Cisco FlexMMC vDVD の使用

始める前に

cisco.com から UCS-SCU ISO イメージファイルをダウンロードします。イメージをダウンロードする方法については、[cisco.com から ISO イメージを取得する \(1 ページ\)](#) を参照してください。

ステップ 1 Cisco IMC にログインします。

ステップ 2 [ナビゲーション (Navigation)] ペインの [ストレージ (Storage)] メニューをクリックします。

ステップ 3 [ストレージ (Storage)] メニューで、[Cisco FlexMMC] を選択します。

ステップ 4 [Cisco FlexMMC] ペインの [コピーされたファイル (Files Copied)] 領域で、[ファイルのアップロード (Upload Files)] タブをクリックします。

[Cisco FlexMMC のアップロード ファイル] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 5 [Cisco FlexMMC のアップロード ファイル] ダイアログボックスで、次の詳細を入力します。

フィールド	説明
[パーティション (Partition)] ドロップダウン リスト	<p>パーティションのタイプ次のように指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • IMC イメージ : Cisco .iso ファイル。 • ユーザ ファイル : 任意の .iso、イメージ、またはその他のファイル形式。 <p>アップロードできるのは 1 つの .iso ファイルのみです。</p> <p>(注) 他のファイル形式を選択した場合、Cisco IMC はファイルをイメージファイルに変換します。</p> <p>その他のファイル形式の場合、ファイルサイズは 10 MB を超える必要があります。また、変換のために余分なスペースが必要です。</p>
[Mount Type] ドロップダウン リスト	<p>マッピングのタイプです。次のいずれかになります。</p> <p>(注) 選択するマウントタイプの通信ポートがスイッチ上で有効になっていることを確認してください。たとえば、マウントタイプとして CIFS を使用する場合、ポート 445 (CIFS の通信ポート) がスイッチ上で有効になっていることを確認します。同様に、HTTP、HTTPS、または NFS を選択する場合は、ポート 80 (HTTP の場合)、ポート 443 (HTTPS の場合)、またはポート 2049 (NFS の場合) を有効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [NFS] : ネットワーク ファイル システム。 • [CIFS] : 共通インターネット ファイル システム。 • [WWW(HTTP/HTTPS)] : HTTP ベースまたは HTTPS ベースのシステム。

フィールド	説明
[リモート共有 (Remote Share)] フィールド	<p>マップするイメージの URL。形式は選択された [Mount Type] によって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none">• [NFS] : serverip:/share を使用します。• [CIFS] : serverip://share を使用します。• [WWW(HTTP/HTTPS)] : http[s]://serverip/share を使用します。
[Remote File] フィールド	リモート共有に含まれる .iso または .img ファイルの名前と場所。

フィールド	説明
[マウントオプション (Mount Options)]フィールド	

フィールド	説明
	<p>カンマ区切りリストで入力される業界標準のマウントオプション。オプションは選択された [Mount Type] によって異なります。</p> <p>[NFS] を使用している場合は、このフィールドを空白のままにするか、次の中から 1 つ以上を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ro • nolock • noexec • soft • port=VALUE <p>[CIFS] を使用している場合は、このフィールドを空白のままにするか、次の中から 1 つ以上を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ro • nounix • noserverino • port=VALUE • [Ntlm] : NT LAN Manager (NTLM) セキュリティプロトコル。このオプションは、Windows 2008 R2 および Windows 2012 R2 でのみ使用します。 • vers=VALUE <p>(注) 値の形式は x.x である必要があります</p> <p>[WWW(HTTP/HTTPS)] を使用している場合は、このフィールドを空白のままにするか、次のように入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • noauto <p>(注) 仮想メディアをマウントする前に、Cisco IMC はサーバーに ping を実行することによって、エンドサーバーへの到達可能性の確認を試みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • username=VALUE

フィールド	説明
	• password=VALUE
[ユーザ名 (User Name)]フィールド	指定した[マウントタイプ (Mount Type)]のユーザ名 (必要な場合)。
[パスワード (Password)]フィールド	選択されたユーザー名のパスワード (必要な場合)。

ステップ 6 右上のメニューから**[KVM の起動 (Launch KVM)]**をクリックします。

(注) ブラウザの設定によっては、**KVM サーバ証明書**を受け入れ、KVM ビューアをクリックする必要があります。

仮想 KVM コンソールにサーバー コンソールが表示されます。

ステップ 7 [電源 (Power)]>[システムの電源の再投入 (ブート) (Power Cycle System (boot))]

ステップ 8 サーバーが起動したら、**F6** キーを押してブート デバイスを選択します。

ブート選択メニューが表示されます。

ステップ 9 矢印キーを使用して、**vKVM-Mapped vDVD** を選択し、**Enter** キーを押します。

サーバーは UCS-SCU イメージを使用して起動し、[KVM] タブでアプリケーションを起動します。

CIMC マップ済みの vDVD の使用

始める前に

cisco.com から UCS-SCU ISO イメージファイルをダウンロードします。イメージをダウンロードする方法については、[cisco.com から ISO イメージを取得する \(1 ページ\)](#) を参照してください。

ステップ 1 Cisco IMC にログインします。

ステップ 2 [計算 (Compute)]>[リモート管理 (Remote Management)]>[仮想メディア (Virtual media)]の順に選択します。

ステップ 3 [仮想メディア (Virtual media)]タブ>[現在のマッピング (Current Mappings)]領域で、必要なマッピングを確認します。

ステップ 4 右上のメニューから**[KVM の起動 (Launch KVM)]**をクリックします。

(注) ブラウザの設定によっては、**KVM サーバ証明書**を受け入れ、KVM ビューアをクリックする必要があります。

仮想 KVM コンソールにサーバー コンソールが表示されます。

- ステップ 5** [仮想メディア (Virtual Media)] > [CIMC-Mapped vDVD] を選択します。
- [仮想メディアのマップ - リムーバブル ディスク (Map Virtual Media - Removable Disk)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 6** [仮想メディアのマップ - リムーバブル ディスク (Map Virtual Media - Removable Disk)] ウィンドウで、次の手順を実行します。
- CIMC-mapped デバイスに希望の名前を入力します。
 - 次のいずれかのプロトコルを選択します。
 - NFS
 - CIFS
 - HTTPS
- デフォルトでは、HTTP/S が選択されています。
- ファイルの場所を次の形式で入力してください。
`[http[s]://server-IP|DNS-name:Port/path-to-file.img`
 - ユーザ名とパスワードを入力します。
 - CIMC マップ デバイスに希望の名前を入力します。
 - (オプション) [自動再マップ (Auto-remap)] を選択します。
- ステップ 7** [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 8** [マップ ドライブ (Map Drive)] を選択します。
- ホストによってこのメディアが取り出されると、Cisco IMC は自動的にこのデバイスを再マップします。
- ステップ 9** ISO ファイルを参照して選択し、[Open] をクリックしてイメージをマウントします。
- 次のメッセージが仮想 KVM コンソールに表示されます。
- デバイス「CIMC-Mapped vDVD」にメディアが正常に挿入されました。
- ステップ 10** [電源 (Power)] > [システムの電源の再投入 (ブート) (Power Cycle System (boot))]
- ステップ 11** サーバーが起動したら、F6 キーを押してブート デバイスを選択します。
- ブート選択メニューが表示されます。
- ステップ 12** 矢印キーを使用して、CIMC-Mapped vDVD を選択し、Enter キーを押します。
- サーバーは UCS-SCU イメージを使用して起動し、[KVM] タブでアプリケーションを起動します。

物理メディアの使用

始める前に

- cisco.com から UCS-SCU ISO イメージファイルをダウンロードします。イメージをダウンロードする方法については、cisco.com から [ISO イメージを取得する \(1 ページ\)](#) を参照してください。
- .iso CD を書き込むアプリケーションを使用して .iso CD 作成します。

ステップ 1 USB ポート経由でサーバーに USB DVD ドライブを接続します。

ステップ 2 DVD ドライブに物理メディアを挿入します。

ステップ 3 サーバを再起動し、**F6** キーを押してブート選択メニューを表示します。ブートデバイスとして **CDROM** ドライブを選択します。

サーバーは UCS-SCU イメージを使用して起動し、アプリケーションを開始します。

UCS-SCU の終了

ステップ 1 ディスク ドライブから .iso ディスクを取り出します。

ステップ 2 [Reboot] をクリックして、サーバーのリブートを確認するために [Yes] をクリックします。
